

Bulletin of National Institute of Livestock and Grassland Science no.3 Index

| | |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-03-22 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属: |
| URL | https://repository.naro.go.jp/records/2051 |

略 号

畜草研研報
Bull. Natl. Inst. Livest.
Grassl. Sci.

ISSN:1347-0825
CODEN:CSKKCS



Bulletin of National Institute of Livestock and Grassland Science (NILGS)



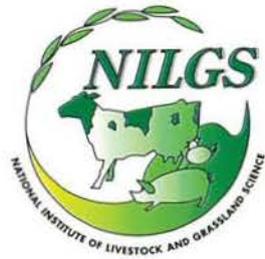
第3号 <No.3> 平成15年5月 - May 2003 -

National Institute
of Livestock and
Grassland Science
(NILGS)

Ibaraki, Japan

独立行政法人 農業技術研究機構

畜産草地研究所



畜産草地研究所編集委員会
Editorial Board

| | |
|----------------------------------|--------------------------------|
| 所 長 Director-General | 横 内 罔 生 Kunio YOKOUCHI |
| 副 所 長 Deputy Director-General | 清 水 矩 宏 Norihiro SHIMIZU |
| 編集委員長 Editor-in-Chief | 松 本 光 人 Mitsuto MATSUMOTO |
| 副編集委員長 Deputy Editor | 吉 村 義 則 Yoshinori YOSHIMURA |
| 編集委員 Associate Editor | 岩 崎 和 雄 Kazuo IWASAKI |
| | 武 田 尚 人 Naoto TAKEDA |
| | 岡 本 隆 史 Takashi OKAMOTO |
| | 喜 田 環 樹 Tamaki KIDA |
| | 田 中 康 男 Yasuo TANAKA |
| | 中 川 仁 Hitoshi NAKAGAWA |
| | 山 本 嘉 人 Yoshito YAMAMOTO |
| | 神 山 和 則 Kazunori KOHYAMA |
| | 下 田 勝 久 Katsuhisa SHIMODA |

畜産草地研究所研究報告

第3号（平成15年5月）

— 目 次 —

— 原著論文 —

泌乳牛における給与飼料中の粗蛋白質含量の違いが乳生産性、窒素排泄量および糞尿由来窒素揮散に及ぼす影響について

…………… 齊藤公一・川島知之・小松篤司・淵本大一郎・作本亮介・萩野暁史・黒田和孝
野中最子・永西 修・田鎖直澄・アグン プルノモアディ・樋口浩二・寺田文典 …… 1

ロールバールサイレージの細断，再貯蔵がその後の発酵品質に及ぼす影響

…………… 河本英憲・佐竹康明・張 建国・青木康浩・加茂幹男 …… 9

イタリアンライグラスにおける雄性不稔性の遺伝解析

…………… 荒川 明・藤森雅博・小松敏憲・内山和宏・杉田紳一 …… 15

— 短 報 —

高原野菜生産地における耕作放棄地の発生状況と放牧利用

…………… 加納春平・瀬川 敬・市戸万丈・手島茂樹・進藤和政 …… 23

**BULLETIN OF
NATIONAL INSTITUTE OF
LIVESTOCK AND GRASSLAND SCIENCE**

No. 3 (2003.5)

CONTENTS

Research Papers

- Koichi SAITOH, Tomoyuki KAWASHIMA, Tokushi KOMATSU, Daiichirou FUCHIMOTO, Ryosuke SAKUMOTO, Akifumi OGINO, Kazutaka KURODA, Itoko NONAKA, Osamu ENISHI, Naozumi TAKUSARI, Agung PRUNOMOADAI, Kouji HIGUCHI and Fuminori TERADA : Effect of Dietary Crude Protein Contents on Lactation Performance, Nitrogen Excretion and Nitrogen Emission from Manure in Cows 1
- Hidenori KAWAMOTO, Yasuaki SATAKE, Jianguo ZHANG, Yasuhiro AOKI and Mikio KAMO : Effect of Shredding and Re-ensiling of Wrapped Round Bale on the Subsequent Silage Fermentation 9
- Akira ARAKAWA, Masahiro FUJIMORI, Toshinori KOMATSU, Kazuhiro UCHIYAMA and Shinichi SUGITA : Genetic Analysis of the Restoration of Male Fertility in Italian Ryegrass (*Lolium multiflorum* Lam.)15

Research Note

- Shunpei KANO, Takashi SEGAWA, Kazutomo ICHITO, Shigeki TEJIMA and Kazumasa SHINDO : Increase of Abandoned Fields in Mountainous Region and Utilization for Grazing23

畜産草地研究所平成13, 14年度発行の研究報告及び研究資料に掲載された論文について、編集委員の他、下記の方々（敬称略）にレフェリーとしてご協力頂きました。

ここに厚くお礼申し上げます。

畜産草地研究所編集委員会委員長 松 本 光 人

石 田 元 彦 (畜 草 研)
 石 橋 晃 ((社)日本科学飼料協会)
 市 戸 万 丈 (近中四農研)
 井 村 毅 (近中四農研)
 大 槻 和 夫 (畜 草 研)
 岡 村 裕 昭 ((独)農業生物資源研究所)
 押 尾 秀 一 (北海道農研)
 梶 雄 次 (九州沖縄農研)
 加 茂 幹 男 (畜 草 研)
 川 島 知 之 (畜 草 研)
 小 松 敏 憲 (畜 草 研)
 斉 藤 雅 典 (畜 草 研)
 斎 藤 吉 満 (畜 草 研)
 佐 藤 哲 生 (九州沖縄農研)
 寺 田 文 典 (畜 草 研)
 中 川 仁 (畜 草 研)
 永 田 忠 博 ((独)食品総合研究所)
 長谷川 三 喜 (畜 草 研)
 林 義 朗 (畜 草 研)
 原 島 德 一 (畜 草 研)
 福 川 哈一郎 (畜 草 研)
 古 川 良 平 (畜 草 研)
 湊 一 ((社)日本科学飼料協会)
 山 岸 規 昭 (畜 草 研)
 山 本 博 (畜 草 研)
 (敬称略, 五十音順) (所属は審査時による。)

編集委員会事務局
企画調整部情報資料第1課
岩 田 茂
岡 田 明 子
企画調整部情報資料第2課
金 井 二三子
加 茂 葉 子

本研究報告から転載、複製をする場合は独立行政法人農業技術研究機構畜産草地研究所の許可を得て下さい。

平成15年 5 月30日印刷

平成15年 5 月30日発行

独立行政法人 農業技術研究機構

畜産草地研究所

〒305-0901 茨城県つくば市池の台2

TEL 029-838-8600 (代)

FAX 029-838-8606

印刷所 東日本印刷株式会社

畜産草地研究所研究報告及び畜産草地研究所研究資料投稿規定

(目的)

第1条 畜産草地研究所研究報告及び畜産草地研究所研究資料への投稿については、この規定の定めるところによる。

(投稿者の資格)

第2条 投稿者は原則として、畜産草地研究所職員（以下、「職員」という。）及び流動研究員、依頼研究員、科学技術特別研究員、STAフェロウシップ研究員等（以下、「他の職員」という。）とする。

- 1 職員が投稿する内容は、主として畜産草地研究所で行った研究とする。
- 2 他の職員が投稿する内容は、畜産草地研究所で行った研究とする。

(投稿原稿の内容)

第3条 投稿原稿の内容は次のとおりとする。

- 1 畜産草地研究所研究報告（Bulletin of National Institute of Livestock and Grassland Science / 略誌名：Bull. Natl. Inst. Livest. Grassl. Sci.）
 - (1) 原著論文：畜産草地研究所（以下、「当研究所」という。）において行った試験研究及び当研究所以外の者に委託して行った試験研究の成果に関わる論文とする。
 - (2) 短報：(1)以外の研究の予報、速報などの短報とする。
 - (3) 技術論文：新しい技術や技術の組立、実証などを主体とする報告。
 - (4) 総説：畜産草地研究に関わるものとする。総説は投稿のほか、編集委員会が依頼したものを含む。
 - (5) 学位取得論文：当研究所において主として行った試験研究による学位取得論文とする。
- 2 畜産草地研究所研究資料（Memoirs of National Institute of Livestock and Grassland Science / 略誌名：Mem. Natl. Inst. Livest. Grassl. Sci.）
調査資料・技術資料・研究資料：当研究所において行った試験研究及び当研究所が当研究所以外のものに委託して行った試験研究のうち、学術的・産業的に有用な未発表の資料とする。

(著作権)

第4条 掲載された論文の著作権は、独立行政法人農業技術研究機構に属する。

(原稿の執筆)

第5条 原稿の執筆にあたっては、別に定める畜産草地研究所研究報告及び畜産草地研究所研究資料執筆要領に基づくものとする。使用する言語は日本語または英語とする。

(原稿の提出)

第6条 次の手続きにより原稿及び原稿提出票を事務局に提出する。

- 1 職員は原稿提出票に必要事項を記載し、所属研究室の室長（科長、チーム長を含む）及び所属する研究部長の校閲を受ける。
- 2 他の職員は原稿提出票に必要事項を記載し、所属研究室の室長（科長、チーム長を含む）及び研究室が所属する研究部長の校閲を受ける。

(受付)

第7条 原稿及び原稿提出票を事務局が受け取った日を受付日とする。
受理日は編集委員会の審査の結果、掲載が妥当と認められた日とする。

(審査)

第8条 編集委員会は次の手続きにより論文を審査する。

ただし、学位取得論文については審査を省略することができる。

- 1 編集委員会は論文の内容により審査員正副をそれぞれ1名決定し、論文審査を依頼する。審査員は所内及び所外の研究者等とし、その氏名は公表しない。
- 2 審査員は論文審査票により審査を行う。また必要に応じて指摘事項を書き出し提出する。
- 3 事務局は審査員と著者の間のやり取りの対応にあたる。
- 4 編集委員会は審査員の審査結果を参考にして掲載の可否を判断する。審査の内容によっては著者に原稿の訂正を求めることができる。
- 5 著者は審査結果を受領後、編集委員会が指定する期日までに修正原稿を事務局に提出する。

(校正)

第9条 著者による校正は原則として初校のみとする。

校正は誤植の訂正程度にとどめる。やむを得ず大きな変更等を行う場合には編集委員会の承認を得なければならない。

(別刷り)

第10条 別刷りは次のとおりとする。

- 1 100部とし、筆頭著者が代表で受け取る。
- 2 別刷りの追加を希望する場合は研究室負担で印刷する。